



成田
あれ・これ



令和7年10月号 第364号

発行：成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

成田弦まつり



成田の秋のイベントとして知られる成田弦まつり。成田山表参道の様々な場所で奏でられる弦楽器の演奏を中心に、門前成田寄席(落語)や成田のをどりパレードなど、様々なイベントが開催されます。

成田山へ続く参道を舞台に奏でられる、迫力のある「弦の饗宴」をお楽しみください。

【日時】 10月18日(土) 10時～17時30分、10月19日(日) 10時～17時
18日は、津軽三味線中心の和の演奏、19日は様々な弦楽器の演奏が開催されます。

【場所】 成田山新勝寺境内・成田山表参道・西参道

☆成田山奉納 津軽三味線大演奏会☆

10月18日(土)16時～(雨天中止) 成田山大本堂前

当日14時より成田山大本堂脇にて着席整理券を配布します。

☆けやぐ三味線バトル☆ 若手奏者による白熱の発表会。全国大会の雰囲気を楽しめます。

10月18日(土) 成田山新勝寺奥山ステージ(11時10分～14時15分)

【交通規制】 10月18日(土)10時～18時30分 10月19日(日)10時～17時30分

JR 成田駅前～薬師堂～成田山門前(鍋店角)及び薬師堂～幸町交差点

【お問合せ先】 成田弦まつり実行委員会事務局(成田商工会議所内)TEL 0476-22-2101



第142回 成田山菊花大会

明治16年より続く伝統行事です。成田山菊花会の奉納による大菊3本立てなどの多種多様な菊花を約1ヶ月間展示します。見頃は11月初旬です。

【開催期間】 10月20日(月)～11月15日(土)

【お問合せ先】 成田山新勝寺 TEL 0476-22-2111

成田山菊花会では、毎年5月に菊苗販売会を、10月には各会員の菊花の開花状況を相互に観察し意見交換する菊花下見会を実施しています。

また現在会員募集中で、成田近辺なら入会希望者のための菊花栽培の出張講習が可能ですのでご検討ください。



千葉県立房総のむら「秋のまつり」

「秋の収穫への感謝」をテーマに、伝統的な技の実演や民俗芸能の上演、お米にちなんだイベントなどを行います。

【開催日時】 10月4日(土)、5日(日) 9時～16時30分

【休館日】 月曜日(月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館)

【入館料】 一般300円、高大生150円、中学生以下と65歳以上は無料

【お問合せ先】 千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

成田山門前町に行く～その⑥

成田山の興隆とともに門前に市をなし、活気を帯びてきた成田も、名物・名産がいろいろとあり、伝統を誇るものから新しく人気を得てきたもの、その一方では姿を消してしまったものもあります。これもまた門前町の歴史といえるでしょう。

JR と京成の成田駅から、成田山新勝寺まで約800m にわたる表参道は、情緒あふれる建物が並び、今でも江戸時代の面影を色濃く残しています。通りには沢山のお店が並んでいます。

旅に出て、楽しみの一つといえば、土地の名物を食することと思います。

成田の食の名物は、うなぎです。成田山参道沿いには、「秘伝のタレ」を代々受け継ぐ老舗の料理店が数多くあります。うなぎを焼く香ばしい美味しそうな香りに包まれ、各店自慢の味に舌鼓を打つことが出来ます。

成田のうなぎには古い由来があります。現代のように養殖が盛んになり、どこでもうなぎが手に入るようになる遥か前からこの地域に住む人達は自然の恵みの宝庫である印旛沼で獲れた川魚料理を食べていました。中でも栄養価の高いうなぎ料理は、広くこの地域の食文化として定着していました。

そして、元禄時代になると市民生活が豊かになり、成田詣と言われるように江戸から行ける行楽地として成田は繁栄しました。門前町の旅館では、江戸でうなぎの人気が高まるにつれて夏場のうなぎ料理を名物とし、お客様をおもてなしました。当時の成田詣は徒歩の旅。長い旅路の疲れには、うなぎ料理を食べて元気になっていただく！という成田の先人達の想いを感じます。



この名残で、成田山周辺を中心に成田市内にはうなぎ料理を出すお店が今でも数多くあるのです。

距離800m、徒歩 約15分の成田山参道に連なる、古くからの旅館や料理店のうち、多くのお食事処でうなぎ料理が楽しめます。

これだけの密度でうなぎ屋さんが集まっている例は全国でも珍しく、成田は実は「うなぎの街」であり、「成田のうなぎ」をたくさんの皆様にご紹介させていただき、20年程前から、夏の土用の丑の日に合わせて「成田うなぎ祭り」を開催しています。

☆イベント等の関連情報については、FEEL 成田(<https://www.nrtk.jp>)をご覧ください。☆